

2019年度 プラネタリウム解説体験

1 参加生徒 2年生 2名 1年生 2名

2 目的

- (1) 天体、宇宙に関する知識を身につける。
- (2) 自分が興味を持った事実を他者にわかりやすく伝えるコミュニケーション能力を養う。

3 内容

日時：令和元年8月22日(木)、8月31日(土)

場所：明石市立天文科学館

内容：8月22日(木)

12:00 受付

12:30 開会

12:35 オリエンテーション

13:10 プラネタリウム投影見学

14:30 プラネタリウム解説について

- ・発表班の決定

- ・発声練習

- ・解説内容を調べ、発表方法の打ち合わせ

18:15 プラネタリウム投影発表

20:00 解散

8月31日(土)

10:00 受付

10:30 発表準備

12:15 「高校生によるプラネタリウム投影」

13:00 まとめ

14:00 解散

4 検証

5～6名のグループを作り、グループ毎に季節の星空についてプラネタリウムでの解説を行った。今年度は他校生と合同のグループだったので、はじめは緊張しているようだったが、発表に向けてしっかりと話し合いが行われていた。また、今年度は実際にお客さんの前で発表するというのもあって、発表内容をしっかり調べ、どの星座に注目するのか、どのように発表すれば伝わるのか、どうすれば楽しんでもらえるのかを一生懸命考えていた。各班とも発表に工夫が見られ、発表のために星座についてしっかり調べたことで、より天体・宇宙についての興味を持ったようであった。また、一度実際のプラネタリウム投影を見学した後、自らが発表し、他のグループの発表を聞くことで、自分の発表に足りないものを自覚し、他者にわかりやすく伝えるためにどうすればよいのか、どれだけの準備が必要かを考える良い機会となった。

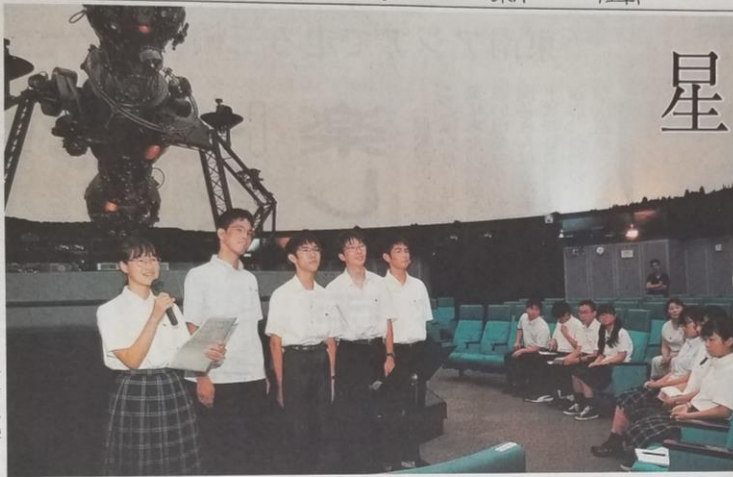
参加生徒は実際の設備を利用させていただいて、発表できるということで、長時間の研修であったが、楽しんで取り組むことができたようである。

以上より今回のプラネタリウム解説体験は有意義であったと評価できる。



星空へようこそ 高校生が案内

プラネタリウムで投影の練習をする高校生 明石市丸町



あす天文学館

プラネタリウム投影に挑戦

星や宇宙に関心がある高校生が31日、明石市立天文学館（明石市丸町）でプラネタリウム投影に挑戦する。参加するのは、明石や神戸、淡路、阪神間など5校の18人。季節の星空を独自のアイデアで案内しようと、練習を重ねている。
(勝浦美香)

明石北など5校の18人 クイズや物語 独自のアイデアで

県教委とスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の県内指定校が主体となる「兵庫吠いテク」プログラムの一環で、明石北高が主催。

同校のほか、舞子高（神戸市）、尼崎小田高（尼崎市）、相生高（相生市）、洲本高（洲本市）から天文好きの生徒が集まった。3グループに分かれ、それぞれ異なる季節の夜空を約10分間で紹介する。22日に初めて顔を合わせ、星座や星空について調べ、投影時に読み上げる文章を考え、その後、照明を落としたプラネタリウムでリハーサルをした。

秋の夜空を担当する班は、名月に隠れがちな秋の星座たちを、人気の本「さんねんないきもの事典」のオマージュ風に取り上げる。明石北高2年の吉村愛美さん（17）は2度目の参加といい「前回よりも面白いことをしたいと思って、『さんねんないきもの』という切り口を提案した。本番でもっと何かできないかなとアイデアを巡らせる。冬の星座を紹介する班は、オリオン座とさそり座の物語や、おおいぬ座などのエピソードを解説する。

手元が見えにくい暗室で長い物語を紹介するのは難しいが、舞子高1年の吉畑春希さん（15）は「一番までに覚えて、スムーズに読めるようにする」。

春の星座の班は、クイズを取り入れて観客を引き込もうと狙う。尼崎小田高2年の井上芹華さん（16）は「小さい子から大人まで、皆に届くような言葉を考えたい」と話す。

◆ 高校生による投影は31日午後0時15分から約40分間。同館 ☎ 078・919・5000